

ワークショップB

「有害事象(事故・合併症)が発生した時の緊急処置」

◇ 参加者は医療従事者に限定

コーディネーター 川嶋隆久 (神戸大学)
アドバイザー 共同行動企画委員会・支援チーム
高橋英夫、児玉貴光、江原一雅、安藤廣美、杉山良子、小泉俊三 他

1. 開会 川嶋隆久 (神戸大学)

2. 趣旨と目的の説明 上原鳴夫 (東北大学)

3. 緊急対応手順の説明と質疑

- ①アナフィラキシーショック 高橋英夫 (名古屋大学)
- ②肺塞栓 川嶋隆久 (神戸大学)
- ③採血時の神経損傷と失神 児玉貴光 (聖マリアンナ医科大学)
- ④空気塞栓 川嶋隆久、高橋英夫

上記の4事例について、手技を行った(あるいは事象発生を発見した)研修医や看護師がまず行うべきことの手順を簡潔に要約して説明します。

4. グループ討議

上記の4事例と、その他の有害事象(胃管誤挿入に伴う合併症など)に関して

- ② 体験・見聞した事例での緊急対応処置
- ③ 何が理解されていないと思われるか、どうやれば理解されやすいか
- ④ 事故や合併症が起きる前の備えとして何が必要か?
- ⑤ 周知すべき重要ポイントの確認

5. 討議のまとめ